

龍谷大学 京都市との連携事例

自治体の課題(ニーズ)



京都市立学校では、これまで月経に関する困りごとを抱える児童生徒に対して、保健室等において生理用ナプキンを配付して保健指導を行うほか、授業等において月経等に関する内容を取り扱ってきた。

本学と京都市教育委員会及びオイテル株式会社 (<https://www.oitr.jp/>) が協議を重ね、若年層が月経等について正しい知識を得る方法の一つとして、今回の「OiTr」の試行的設置及び児童生徒への月経等に関する知識や情報の周知啓発等の必要性を認識。

研究成果(シーズ)の還元



2020年11月に本学学生が発表したビジネスアイデア「生理に関する正しい情報発信」をきっかけとした、龍谷大学、オイテル株式会社との連携を背景に、京都市立学校への「OiTr」の試行設置及び児童生徒への保健指導における試行的活用等を実施。

具体的には、東山泉小中学校(東山区)、西京高等学校附属中学校、西京高等学校(ともに中京区)に「OiTr」を設置し、2023年5月から児童生徒が利用。

学校での使用にあたり、生理用ナプキンを配付するとともに、設備付属のデジタルサイネージにて月経等に関する知識や情報の周知啓発につながるような教育的コンテンツを配信している。児童生徒が月経等について正しい知識を得られ、一人で抱え込まずに相談しやすい環境づくりを図っている。

この連携に携わった研究者



経営学部
松永 敬子 教授

(研究者の経歴)

本連携事例は、教職員・学生にて構成された社会的課題解決ワーキンググループのメンバーと共に展開。保健体育教員免許取得経験から、現代社会における「生理の貧困」の真意などを検討し、「OiTr」学内設置に携わった。

専門はスポーツマネジメント。地域スポーツマネジメントやスポーツボランティア(京都マラソンボランティア)研究等も行っている。現在はスポーツ庁スポーツ審議会健康スポーツ部会委員、日本スポーツマネジメント学会理事等を担当。

※ 研究者の経歴等はresearchmap (URL: <https://researchmap.jp/read0082579?lang=japanese>) をご参照下さい。